

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月6日

上場取引所 JQ

上場会社名 オーデリック株式会社

コード番号 6889 URL <http://www.odelic.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 伊藤 雅人

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営本部長

(氏名) 吉友高 俊則

TEL 03-3332-1111

四半期報告書提出予定日 平成21年11月10日

配当支払開始予定日

平成21年12月10日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	10,294	△8.5	△377	—	△333	—	△490	—
21年3月期第2四半期	11,248	—	△156	—	△132	—	△97	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△81.39	—
21年3月期第2四半期	△16.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	21,420	15,054	70.3	2,498.87
21年3月期	22,754	15,512	68.2	2,574.88

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 15,054百万円 21年3月期 15,512百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
22年3月期	—	5.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	10.00	15.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,700	△6.8	△360	—	△290	—	△490	—	△81.33

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔注〕詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 7,611,000株 21年3月期 7,611,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 1,586,635株 21年3月期 1,586,419株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 6,024,467株 21年3月期第2四半期 6,024,713株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済対策等により、一部には景気持ち直しの動きが見られたものの、雇用情勢の悪化や個人消費の落ち込みなど、引き続き厳しい状況となっております。

当企業グループの業績に大きな影響を与える建設投資においても、住宅、非住宅とも着工の大幅な低迷が続いております。

このような状況の中、当企業グループにおいては、6月1日よりLED照明器具をはじめとする省エネ型の照明器具新製品を多数発売し、増販を図るとともに、コストダウンや経費削減に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は10,294百万円(前年同期比8.5%減)、営業損失377百万円(前年同期は156百万円の損失)、経常損失333百万円(前年同期は132百万円の損失)、四半期純損失490百万円(前年同期は97百万円の損失)となりました。

機種別の業績は、次のとおりであります。

なお、当企業グループは、製商品の種類、性質、製造方法、販売市場等類似性から判断して、同種・同系列の各種照明器具を専ら製造販売しておりますので、事業のセグメントごとの業績を金額あるいは数量で記載しておりません。従いまして、業種につきましては機種別の分類区分ごとに金額を記載することとしており、所在地別セグメントにつきましては、全セグメントの売上高の合計額に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

(白熱灯照明器具)

白熱灯照明器具につきましては、省エネ施策として、蛍光灯照明器具やLED照明器具への切り替えを進めるべく、本年5月発行のカタログより白熱灯一般電球搭載照明器具の掲載を大幅に削減いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ19.0%減の2,539百万円となりました。

(蛍光灯照明器具)

蛍光灯照明器具につきましては、住宅用及び施設用の高効率型器具拡販に努めてまいりました。建設投資低迷の影響により増販までには至りませんでした。ダウンライト等、白熱ランプ搭載器具からのシフトも確実に進んでおります。

この結果、売上高は前年同期に比べ2.6%減の6,002百万円となりました。

(高圧放電灯照明器具・その他)

高圧放電灯照明器具・その他につきましては、店舗・施設等の物件受注の減少から街路灯など特注品の販売が減少いたしました。品揃えを大幅に増やしたLED照明器具の販売は、ダウンライトやアウトドアライトを中心に大幅に伸ばいたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ10.0%減の1,752百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態

① 資産

当第2四半期連結会計期間末における資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べて1,334百万円減少し21,420百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少889百万円や受取手形及び売掛金の減少333百万円に加え、商品及び製品が191百万円減少したこと等によるものです。

② 負債

当第2四半期連結会計期間末における負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べて875百万円減少し6,366百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が799百万円減少したこと等によるものです。

③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べて458百万円減少し15,054百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金152百万円の増加に対して、利益剰余金が610百万円減少したこと等によるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、3,082百万円となり、前連結会計年度末に比べ889百万円減少しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況及び要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少は638百万円(前年同期は9百万円の減少)となりました。この主な要因は、減価償却費295百万円や売上債権の減少333百万円による資金の増加に対して、税金等調整前四半期純損失470百万円や仕入債務の減少804百万円により資金が減少したこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は118百万円(前年同期比53.9%減)となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出88百万円や無形固定資産の取得による支出31百万円により資金が減少したこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は132百万円(前年同期比31.3%減)となりました。この主な要因は、配当金の支払による支出120百万円により資金が減少したこと等によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、個人消費や設備投資の低迷などにより、依然として厳しい状況が続くものと思われれます。

建築物着工の低迷が続く中、市場が縮小する中、照明器具販売においては企業間の競争がさらに加速していくものと予想されます。

このような状況の中で、通期の業績予想につきましては、平成21年5月15日公表の業績予想から修正を行っております。詳細につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り簿価切下げを行う方法によっております。

② 経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

③ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額に関しては、加味する加減算項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度に使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間において、営業外費用の「その他」に含めていた「投資事業組合運用損」は、営業外費用の100分の20を超えたため、当第2四半期連結累計期間より区分掲記することとしました。なお、前第2四半期連結累計期間の営業外費用「その他」に含まれる「投資事業組合運用損」は1,294千円であります。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,383,582	4,272,858
受取手形及び売掛金	3,809,356	4,142,711
商品及び製品	3,644,492	3,835,841
仕掛品	181,549	179,334
原材料及び貯蔵品	551,527	498,497
その他	438,772	300,888
貸倒引当金	△4,106	△5,100
流動資産合計	12,005,173	13,225,031
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,530,174	4,668,566
機械装置及び運搬具(純額)	185,166	201,869
土地	2,098,147	2,098,147
その他(純額)	330,846	345,547
有形固定資産合計	7,144,334	7,314,131
無形固定資産	1,170,838	1,155,279
投資その他の資産		
投資有価証券	792,050	750,696
その他	333,375	315,107
貸倒引当金	△24,956	△5,312
投資その他の資産合計	1,100,469	1,060,491
固定資産合計	9,415,642	9,529,902
資産合計	21,420,815	22,754,933
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,704,053	4,503,415
短期借入金	4,296	4,960
未払法人税等	47,263	79,614
賞与引当金	277,424	279,997
その他	747,542	829,135
流動負債合計	4,780,579	5,697,122
固定負債		
長期借入金	34,766	36,914
退職給付引当金	342,599	309,055
役員退職慰労引当金	122,730	117,503
その他	1,086,017	1,081,751
固定負債合計	1,586,113	1,545,223
負債合計	6,366,693	7,242,346

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,105,500	3,105,500
資本剰余金	2,890,655	2,890,655
利益剰余金	10,394,092	11,004,902
自己株式	△1,393,287	△1,393,166
株主資本合計	14,996,960	15,607,891
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	57,162	△95,303
評価・換算差額等合計	57,162	△95,303
純資産合計	15,054,122	15,512,587
負債純資産合計	21,420,815	22,754,933

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	11,248,674	10,294,271
売上原価	7,047,229	6,515,545
売上総利益	4,201,444	3,778,725
販売費及び一般管理費	4,358,395	4,156,381
営業損失(△)	△156,951	△377,655
営業外収益		
受取利息	4,977	393
受取配当金	22,810	17,664
デリバティブ評価益	—	9,728
その他	15,707	29,040
営業外収益合計	43,496	56,826
営業外費用		
支払利息	4,549	3,351
投資事業組合運用損	—	3,101
デリバティブ評価損	7,222	—
その他	7,086	6,426
営業外費用合計	18,857	12,879
経常損失(△)	△132,312	△333,708
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2,083	—
特別利益合計	2,083	—
特別損失		
固定資産除却損	1,039	3,938
投資有価証券評価損	—	132,744
会員権売却損	—	300
特別損失合計	1,039	136,982
税金等調整前四半期純損失(△)	△131,268	△470,691
法人税、住民税及び事業税	36,467	36,826
法人税等調整額	△70,558	△17,199
法人税等合計	△34,091	19,627
四半期純損失(△)	△97,177	△490,318

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	5,880,512	5,555,899
売上原価	3,690,740	3,513,341
売上総利益	2,189,772	2,042,557
販売費及び一般管理費	2,188,808	2,092,912
営業利益又は営業損失(△)	963	△50,355
営業外収益		
受取利息	3,980	393
受取配当金	1,388	1,355
助成金収入	—	8,147
その他	8,440	11,553
営業外収益合計	13,809	21,450
営業外費用		
支払利息	2,231	1,533
デリバティブ評価損	10,389	179
その他	4,627	3,068
営業外費用合計	17,248	4,781
経常損失(△)	△2,475	△33,686
特別利益		
貸倒引当金戻入額	528	—
特別利益合計	528	—
特別損失		
固定資産除却損	688	3,802
投資有価証券評価損	—	132,744
特別損失合計	688	136,547
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,636	△170,233
法人税、住民税及び事業税	10,965	3,406
法人税等調整額	2,715	6,374
法人税等合計	13,680	9,780
四半期純損失(△)	△16,316	△180,014

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△131,268	△470,691
減価償却費	310,220	295,678
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,692	18,649
受取利息及び受取配当金	△27,788	△18,057
支払利息	4,549	3,351
デリバティブ評価損益(△は益)	7,222	△9,728
固定資産除却損	1,039	3,938
投資有価証券評価損益(△は益)	—	132,744
売上債権の増減額(△は増加)	535,564	333,354
たな卸資産の増減額(△は増加)	△862,441	136,105
仕入債務の増減額(△は減少)	347,382	△804,900
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,669	33,544
その他	△181,731	△241,639
小計	3,724	△587,650
利息及び配当金の受取額	27,692	17,975
利息の支払額	△922	△557
法人税等の支払額	△39,933	△68,364
営業活動によるキャッシュ・フロー	△9,439	△638,597
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△220,720	△88,731
無形固定資産の取得による支出	△35,700	△31,260
その他	—	1,786
投資活動によるキャッシュ・フロー	△256,420	△118,205
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△5,562	△2,812
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△5,646	△9,018
自己株式の取得による支出	△101	△121
配当金の支払額	△181,424	△120,521
財務活動によるキャッシュ・フロー	△192,734	△132,473
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△458,594	△889,275
現金及び現金同等物の期首残高	4,073,503	3,971,858
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,614,908	3,082,582

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。